

2005年10月21日

社団法人 日本貿易会

国際協力銀行に関する論点メモ

1. 公的ステータスに基づく交渉力やカントリーリスクの抑止力
 - － 海外の情報収集力、相手国政府等海外の公的機関との人的パイプ
 - － 相手国政府機関等への影響力

2. 海外プロジェクトに必要な長期の資金調達への補完と付随するカントリーリスクへの対応
 - － 民間金融機関の限界、国際協力銀行の補完機能

3. 他国の公的金融機関への対抗
 - － メガコンペティション環境下でのイコールフットイング

4. 一元的な海外金融メニューの提供
 - － 国際金融業務と海外経済協力業務とを一体で行うことによる
途上国側の重層的効果

5. 国際金融状況に応じた機動的な対応
 - － 海外で事業を行う日系企業の安定的な外貨資金調達の確保

以上